

I 調査の概要

1 調査目的

町外コミュニティや今後の災害公営住宅などの整備、帰町できる環境の整備のための諸施策の適切な実施に向けた取組みを、更に具体化するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査項目

- (1) 回答世帯属性
- (2) 東日本大震災発生時および震災前の状況
- (3) 現在の状況
- (4) 町外コミュニティについての考え
- (5) 浪江町への帰還意向
- (6) 国・町への要望・提案・意見等

3 調査対象

(1) 調査対象

15歳以上の浪江町住民(東日本大震災発生当時居住住民)
(但し、中学生は除く)

(2) 対象数 18,303人

4 調査時期

平成25年1月9日(水)～1月23日(水)

5 調査方法

郵送法

6 調査実施

復興庁 福島県 浪江町

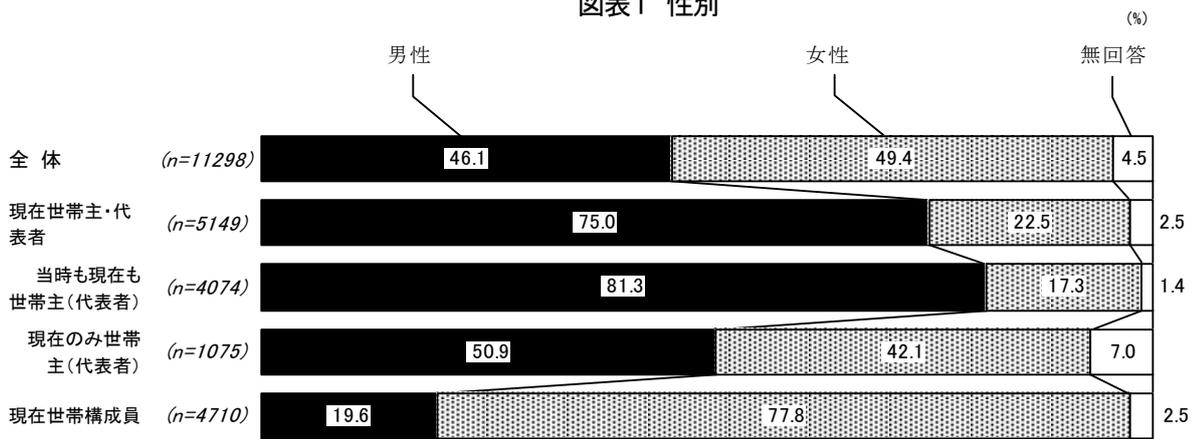
7 回収結果

有効回収数(率) 11,298人(61.7%)

8 回答者の属性

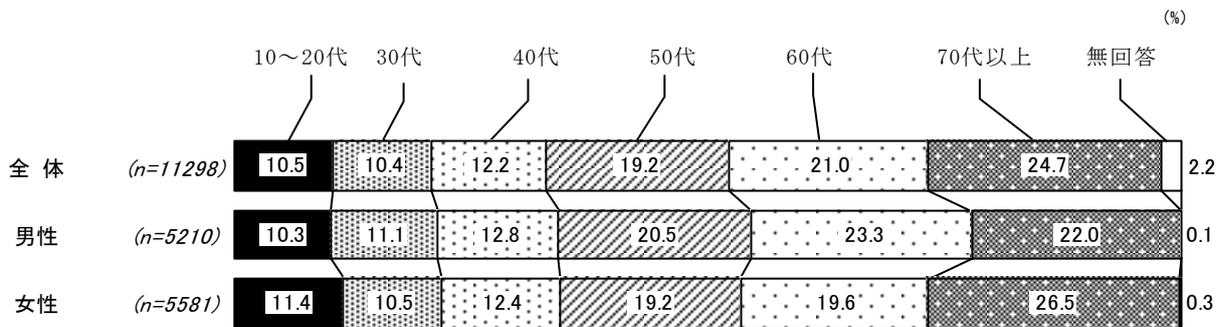
(1) 性別

図表1 性別

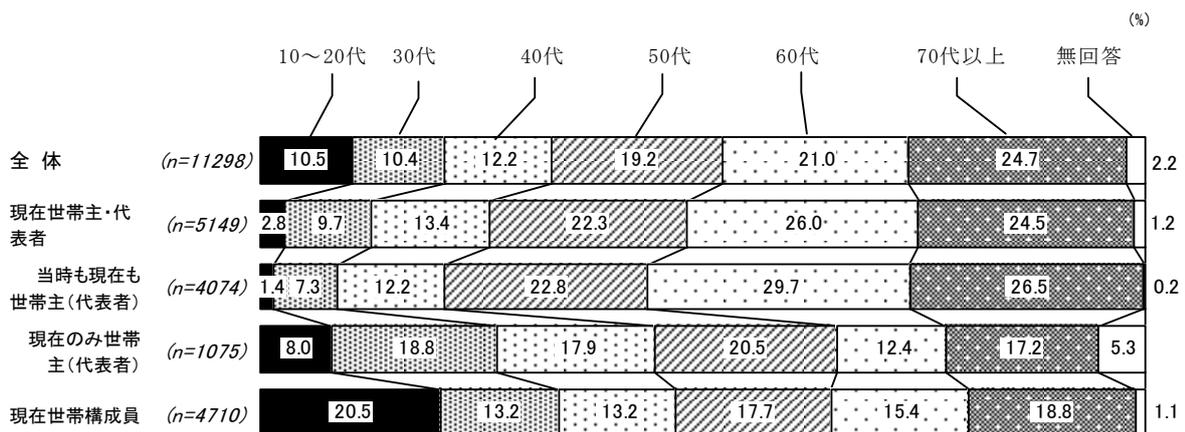


(2) 年齢

図表2 年齢

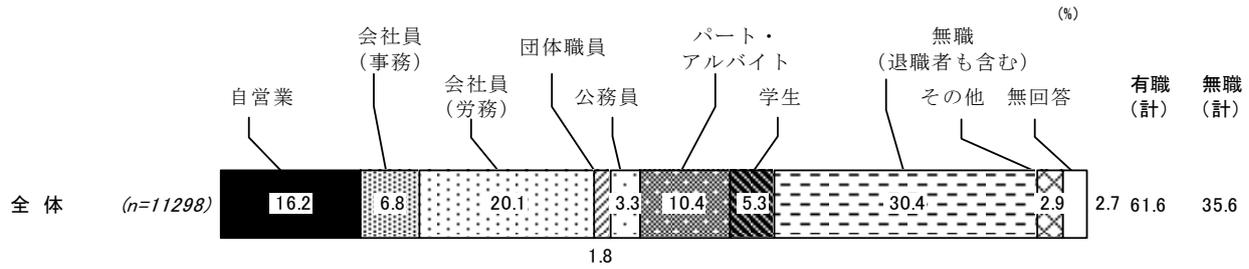


図表3 年齢(世帯員・構成員別)

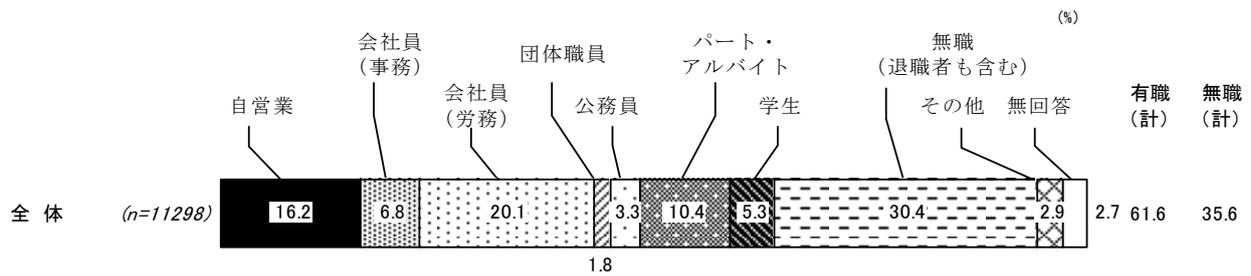


(3) 職業(震災発生当時・現在)

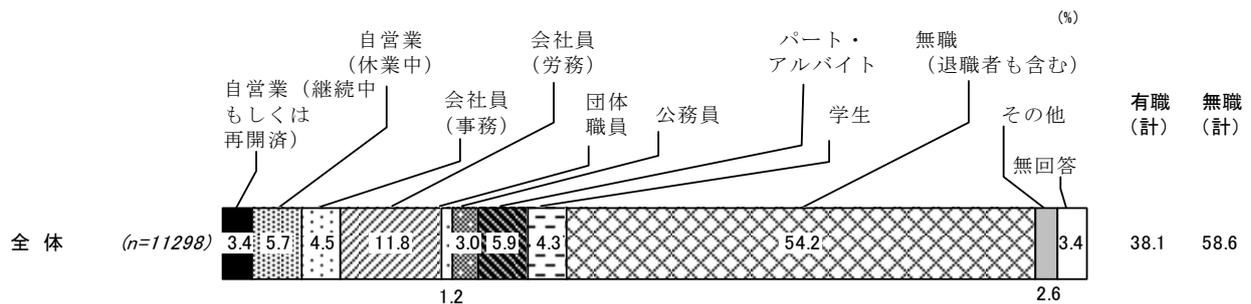
図表4 職業(震災発生当時)



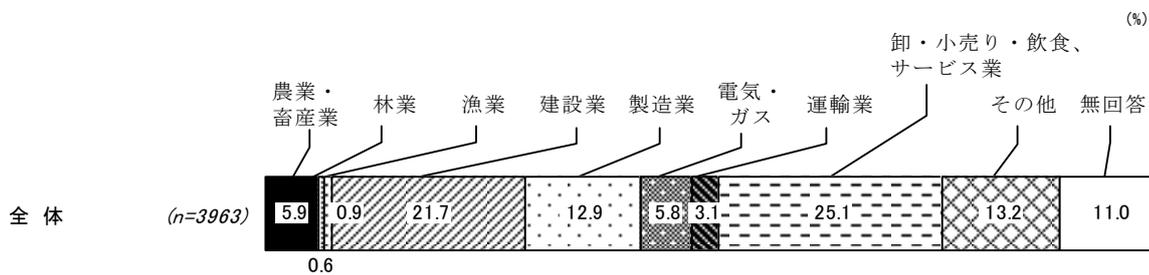
図表5 業種(震災発生当時)



図表6 職業(現在)



図表7 業種(現在)



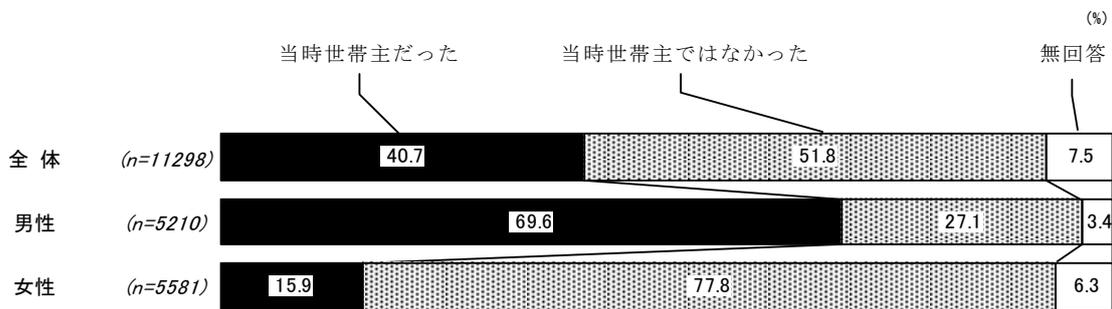
(4) 震災発生当時居住地区と居住年数

図表8 震災発生当時居住地区

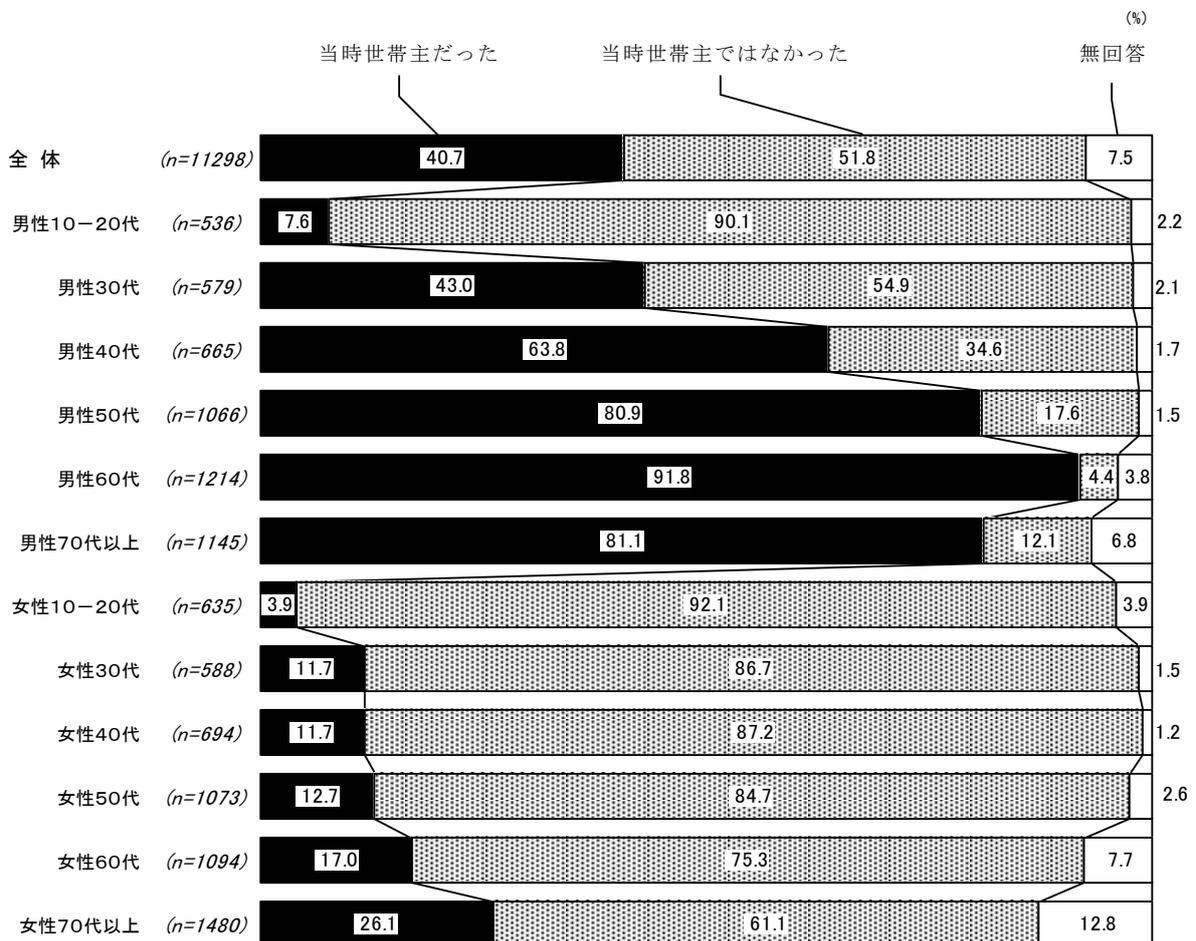
全体 (n=11298)																	
権現堂	川添	牛渡	樋渡	高瀬	幾世橋	北幾世橋	棚塩	請戸	中浜	両竹	酒井	谷津田	井手	畑川	小丸	大堀	末森
15.7	15.7	1.4	3.4	2.9	4.0	4.8	2.6	5.5	0.7	0.6	1.1	1.5	2.1	0.2	0.6	2.0	0.9
田尻	小野田	加倉	室原	立野	苅宿	酒田	西台	藤橋	津島	羽附	南津島	川房	昼曾根	下津島	赤宇木	その他	無回答
4.7	1.8	3.3	3.5	4.9	1.6	2.9	1.7	1.4	2.2	0.6	1.8	0.2	0.1	0.6	1.7	0.3	0.8

(5) 世帯での立場(震災発生当時・現在)

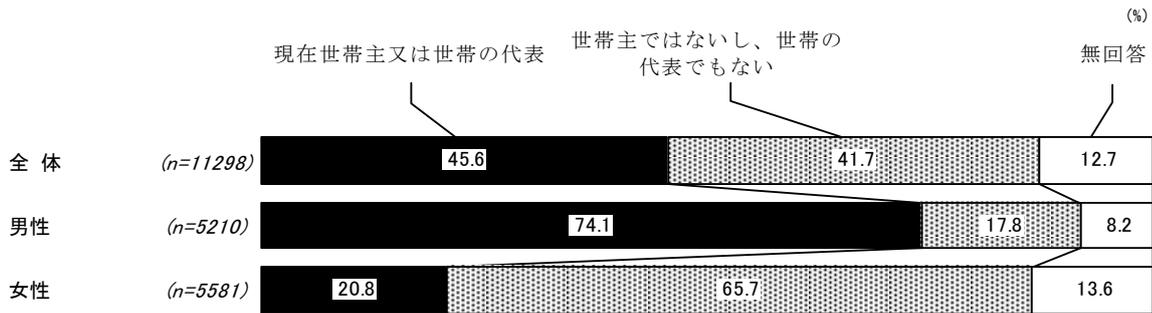
図表9 世帯での立場(震災発生当時)



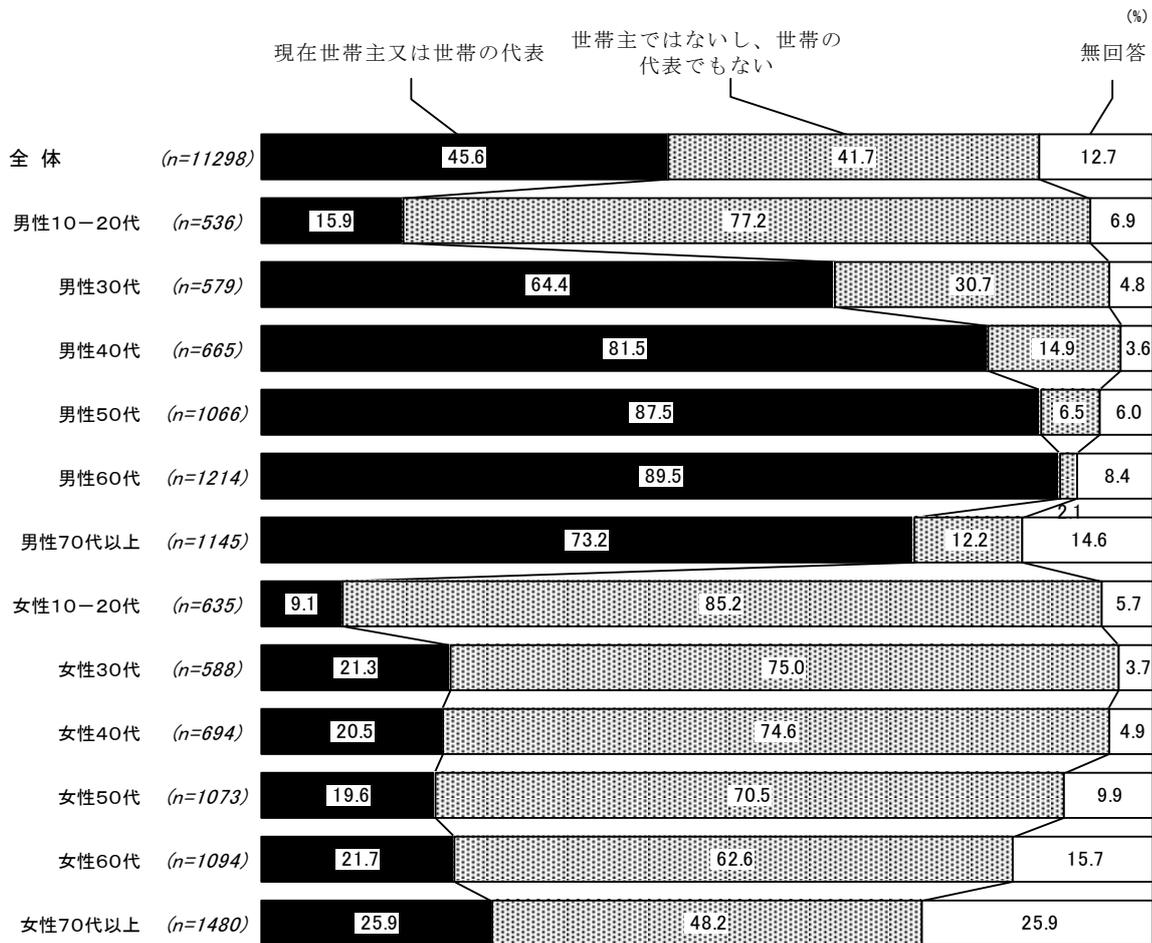
図表10 世帯での立場(震災発生当時:性・年代別)



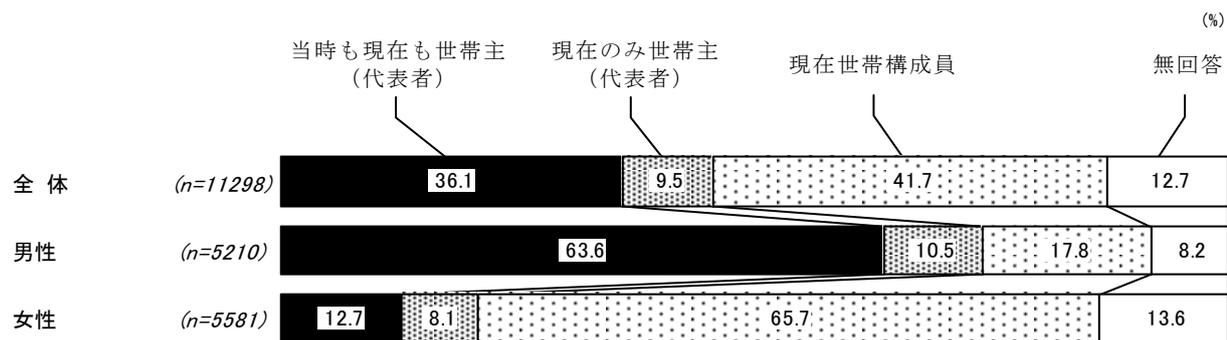
図表 11 世帯での立場(現在)



図表 12 世帯での立場(現在:性・年代別)



図表 13 震災発生当時からの世帯での立場



9 この報告書を読む際の注意

- (1) 図表中のnとは、比率算出の基数を表すもので、原則として回答者総数(11,298 人)、または分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比は、小数点第2位で四捨五入して、小数点第1位までを表示した。四捨五入したため、合計値が100%を前後することがある。
- (3) 「(〇はいくつでも)」と表示のある質問は、2つ以上の複数回答を認めているため、回答計は100%を超える。
- (4) 図表中“—”は、回答者が皆無であることを、“0.0”は0.05未満の数値であったことを示す。
- (5) 「Ⅱ 調査結果」では、分類別の回答者数が50人より少ない場合は傾向をみるにとどめ、分類別の分析の対象からは外している。